

平成 26 年 5 月吉日

校友会会員 各位

大阪工業技術専門学校 校友会  
大阪ブロック支部長 小野田尚文

大阪ブロック支部設立 10 周年記念事業

# 「OCT WALK in 近江八幡」のご案内

## ～ヴォーリス建築&五個荘の町並み～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は校友会の運営にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、大阪ブロック支部は設立より 10 年を迎え、記念事業として恒例の OCT WALK in シリーズを開催致します。

「OCT WALK in 近江八幡」と銘打ち、今年没後 50 年となるウィリアム・メレル・ヴォーリズの近江八幡に数多く残る建築を保存会の方による案内のもと見学します。

また、重要伝統的建造物群保存地区で近江商人発祥の地とされている五個荘では、近江商人屋敷の町並みを地元の方のガイドで散策します。

天満橋より貸し切りバスでの往復、各施設の入館、そして郷土料理の昼食など、盛りだくさんの記念事業を参加費無料で企画致しました。

皆様多数のご参加をお待ち致しております。

### 記

◇開催日：平成 26 年 6 月 15 日（日）終日

◇集 合：天満橋北詰東側付近

午前 8 時 15 分 \*時間厳守

◇参加費：無料（入館料・昼食付）

申込み締め切り：6 月 9 日（月）

※貸し切りバスの乗車人数に限りがございますので、先着 40 名様とさせていただきます。

お申込みは下記返答書にご記入の上 FAX、または電話（メール）にてお願いします。  
会員以外（ご家族）のお申し込みも受付いたしますが、参加費は有料（3000 円）とさせていただきます。

メールでお申し込みの場合、名前、住所、卒業年度及び学科を必ず明記して下さい。

※ 雨天の場合でも決行いたします。

※ 歩きやすい服装でご参加ください。

◇問い合わせ・申込受付：大阪工業技術専門学校 校友会 事務局 担当 高山

Tel : 06-6352-0091 FAX : 06-6352-5995

E-mail : takayama@oct-ob.org

### OCT Walk in 近江八幡 出欠連絡書

- ・ 参 加
- ・ 不参加

FAX : 06-6352-5995

※いずれかに○を付けて下さい。

※不参加の場合でも連絡いただくと  
ありがたいです。

氏 名 \_\_\_\_\_

卒業年： \_\_\_\_\_ 学科： \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

連絡事項 \_\_\_\_\_

ひとつやなぎめれる

## 【ウィリアム・メレル・ヴォーリス 日本名：一柳米来留】

ヴォーリスは明治38年に八幡商業高等学校の英語教師として来日し、昭和39年に83歳の生涯を終えるまで彼は近江八幡市に留まり、キリスト教の伝道とその主義に基づく社会教育、出版、医療、学校教育などの社会貢献活動を行いました。そしてこれらの事業を経済的に支えるべく多くの人々と力を合わせ、建築設計会社やメンソレータム（現メンターム）で知られる製薬会社などの企業活動を展開していきました。

明治41年12月、ヴォーリスは建築設計監督事務所を開き、アマチュア建築家として活動を始めました。2年後には米国人建築技師レスター・チェーピンを加えてヴォーリス合名会社を創設し、以来大正中期から昭和初期にかけて、米国人建築家を含め2～30人建築技師を擁した建築事務所へと発展させています。建築作品にはキリスト教会、とりわけ米国ミッションに関係するものが多く見られますが、一般の商業、オフィスビルにも際だつものがあり、洋風住宅や軽井沢の山荘住宅なども設計しています。また、「吾が家の設計」などの著作によって広く住宅の近代化に寄与したと考えられています。ヴォーリス建築は、当時のアメリカ建築の流れをひいて種々の建築様式が応用されたものとか、様式のない建築と言われていますが、彼の建築には様々なところで日本の気候風土や住習慣に適合させる工夫がなされています。そこに共通しているのは、実用性に重きをおき、簡潔ではあるけれども豊かなデザインと親しみやすく包容力のある空間を有したものとなっています。ここに依頼者の求めに応える奉仕の精神に貫かれたヴォーリス建築の特質があります。



旧八幡郵便局

八幡商業高校

## 【重要伝統的建造物群保存地区 金堂の町並み（五個荘）】

平成10年12月25日、金堂の町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

選定理由は、「金堂の町並みは古代条里制地割を基礎に大和郡山藩の陣屋と社寺を中心に形成された湖東平野を代表する農村集落で、加えて近江商人が築いた意匠の優れた和風健造群の歴史的景観を保存し、わが国として価値が高い」とされています。近江商人たちは、郷里を離れることなく、金堂の本宅を守り、進んで社寺や公共のために出資しました。彼らが育み、現在にもなお受け継がれている白壁、舟板張りの屋敷の町並みです。



## <当日のスケジュール予定>

- 8:15 天満橋 北詰東側付近集合 集まり次第出発  
※貸し切りバス移動
- 10:15 五個荘散策  
※貸し切りバス移動
- 12:30 昼食
- 13:30 近江八幡 散策
- 17:30 近江八幡 出発  
※貸し切りバス移動
- 19:00 頃 天満橋着 解散